2024年7月29日

各　位

会 社 名　　株式会社網屋
代表者名　　代表取締役社長　　石田　晃太
（コード：4258　東証グロース）

国内初の投資ファンドに出資企業としての参画に関するお知らせ

当社は、2024年４月１日に設立された「日本サイバーセキュリティファンド１号投資事業有限責任組合」に出資を行うLimited Partner（以下、L.P.）として参画することを表明しました。本日実施された記者会見において、当社を含む計16社のサイバーセキュリティ企業の経営トップが、日本のサイバーセキュリティ業界の活性化を社会課題の解決の一環として強力に推進することを決意致しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．ファンド概要

「日本サイバーセキュリティファンド１号投資事業有限責任組合」は、サイバーセキュリティ専業企業に投資を行う形としては国内初となるファンドとして2024年４月１日に設立されました。資産運用会社のウエルインベストメント（東京都新宿区）を無限責任組合員として、当社やグローバルセキュリティエキスパート社などサイバーセキュリティ企業が集結し、最大100億円規模のファンド組成を目指します。

２．当社の参画意義

当社は「Secure the Success 自動化で、誰もが安全を享受できる社会へ」をアイデンティティに、お客様や社会のサイバーセキュリティの向上を目指しています。当社.は、同ファンドへの出資による投資リターン効果を期待するだけでなく、投資先への経営アドバイス、サイバーセキュリティのノウハウ提供、IPO支援など、国内のベンチャー投資先企業の成長を加速させるための支援も行い、社会貢献として、深刻化するサイバー犯罪への対応の担い手を増やしてまいります。

３．日本サイバーセキュリティファンド１号投資事業有限責任組合からのエンドースメント

貴社がL.P.として参画頂けること、大変心強く、歓迎申し上げます。

サイバー攻撃の被害が日本全国各地で発生しています。一方で、企業を護るセキュリティ企業・セキュリティ人材の数は圧倒的に不足しています。貴社をはじめとした志を同一にするセキュリティ企業がタッグを組み、本ファンドを通じて社会課題の解決に取り組んで参ります。セキュリティ業界を盛り上げ、ファンドに参画するセキュリティ企業各社が成長し、セキュリティ市場が拡大することが、結果として日本全国各地の企業・組織をサイバー攻撃から護ることにつながって参ります。

本ファンドにおける活動が貴社の更なる成長に繋がる事を期待申し上げます。

以上